覚えていますか？ あの日のことを…

台風・集中豪雨に備えよう

右上・右中：稲梓中学校グラウンドで土砂災害が発生。グラウンド下の家屋が被害を受けた。
右下：伊豆急下田駅構内の様子。伊豆急行線は集中豪雨のため運休し、お盆の時期と重なり多くの観光客で溢れた。
左：国道135号白浜大浜付近で土砂災害が発生。通行止めとなり、多くの車で渋滞となった。

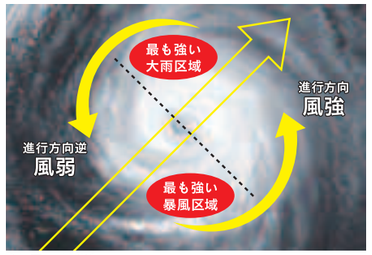
2003(平成15)年8月15日、集中豪雨が市内を襲い、各所でその爪痕を残しました。異常気象が叫ばれている今、豪雨災害の危険性は、ますます高くなってきています。また、夏から秋にかけて台風の上陸も多発します。これらの被害を最小限にするためには日頃から対策を考え、正しい知識を身に付け、落ち着いて行動することが重要です。

台風とは

熱帯地方で発生した低気圧を「熱帯低気圧」といい、そのうち中心付近の最大風速が秒速17・2m以上になったものを「台風」といいます。

台風は年間約26個発生し、そのうち日本に接近するものが約11個、うち上陸するものが約3個です。日本は地球の北半球にあるので、中心に向かって反時計回りに風が吹き込み、中心部分(台風の目)付近では風が弱く、中心から100kmほど離れた場所で風が強いのが特徴です。台風通過時に強い風が急に弱まっても、数時間後に再び吹き返しの強風が吹き荒れます。風が弱くなったからといって外出したり、家屋の修繕等をするのは極めて危険です。

台風被害を最小限に食い止めるには、台風の強さや大きさなどの情報を予報で得ることが重要です。風速と強さの関係をあらかじめ把握しておきましょう(左表参照)。



【台風の特徴】
進行方向に向かって右半分は、台風の風と進路が同じになるため、左半分より風速が大きくなります。

台風の強さ	
強い	最大風速33m/s～44m/s未満
非常に強い	最大風速45m/s～54m/s未満
猛烈な	最大風速55m/s以上

台風の大きさ	
大型	風速15m/s以上の半径が500km以上
超大型	風速15m/s以上の半径が800km以上

※m/s(メートル毎セカンド＝秒速)

集中豪雨とは

短時間に狭い範囲に集中して降る大雨を「集中豪雨」といいます。日本付近に前線が停滞しているときや台風が日本に接近しているときなど、大気の状態が不安定になると集中豪雨が発生しやすくなります。また、集中豪雨は、急速に発達する積乱雲により引き起こされるので、台風などと異なり予測が困難で、また地形によっては土石流・地すべり・崖崩れなどの土砂災害、洪水などが起きやすくなります。

集中豪雨による被害を最小限に食い止めるには、雨の降り方や土砂災害の前兆などを把握すること、最新の気象情報を得ることが重要です。特に20mm以上の雨が1時間以上降り続いているときや降り始めから100mm以上の降雨量となったときは十分な警戒が必要です(左上・左表参照)。

災害への備え

台風・集中豪雨は、事前の対策次第で被害を最小限に抑えることができます。日頃から十分な対策を立てておきましょう。

日頃の心構えと準備

家の近くの危険箇所と避難場所を確認しましょう。いざというときのために、非常持出品を準備しておきましょう。

台風が近づいたら

できるだけ外出は控えましょう。瓦や窓などを点検し、商店など看板がある場合は風で飛ばされないように固定しましょう。また、浸水などの恐れがあるときは、家財道具や生活用品を高い所へ移動しておきましょう。

避難するとき

避難勧告を受けたら、危険を感じなくても速やかに避難を。単独行動は避け、地域の人と協力しましょう。お年寄りなどがいる家庭は特に早めの行動が必要です。また、勧告がなくても、危険と判断したら自主的に避難しましょう。

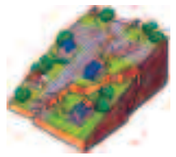
避難するときは、電気やガスなど火の始末、戸締まりを確実に。また、行動しやすい服装で、丈夫な運動靴や手袋なども持ちましょう。

土砂災害の前兆

崖崩れの前兆

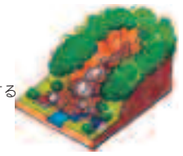
▼斜面から水がわき出す
▼小石がパラパラと落下する
▼斜面がふくらむ
▼斜面に裂け目ができる

地すべりの前兆



▼急に水がわき出す
▼山腹に亀裂や段差が生じる
▼地鳴りがする
▼池や沼の水位が急変する

土石流の前兆



▼渓流の水が急に減る
▼渓流内で石が転がる音がする
▼川の水が急激に濁る
▼木が流れてくる

大雨や台風時に発表される主な警報・注意報の種別

種　類	内　容
大雨警報	大雨により重大な災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。対象となる災害として、浸水による災害や土砂災害などがあり、それぞれ、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害）と対象災害を明示し発表。
大雨注意報	大雨により災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。対象となる災害として、浸水による災害や土砂災害などがある。
洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
洪水注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害のおそれがあると予想したときに発表。
暴風警報	暴風により重大な災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
強風注意報	強風により災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
波浪警報	高い波により重大な災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
波浪注意報	高い波により災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
高潮警報	台風や低気圧などによる異常な海面の上昇により重大な災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
高潮注意報	台風や低気圧などによる異常な海面の上昇により災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。
雷注意報	落雷、雷に伴うひょう及び竜巻などの突風により災害が起こるおそれがあると予想したときに発表。

1時間の雨量	雨の降り方と予測状況
10～20mm やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。話し声がよく聞き取れない。地面一面に水たまりができる。
20～30mm 強い雨	どしゃ降り。傘を差してもぬれワイパーを早くしても見づらい。寝ている人の半数が雨に気付く。側溝や小川があふれ、小規模な崖崩れが始まる。
30～50mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになり、車の運転が困難になる。崖崩れが起きやすく、危険地帯では避難が必要。
50～80mm 非常に激しい雨	滝のようにゴーゴーと降る。傘は役に立たず、水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生。
80mm～ 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害の発生について厳重な警戒が必要。

台風・集中豪雨 関連情報について

気象庁ホームページ
http://www.jma.go.jp/

サイポスレーダー
(静岡県土木総合防災情報)
http://sipos.shizuoka2.jp/

静岡県土砂災害情報マップ
http://sabougis.pref.shizuoka.jp/

問合せ先
市民課防災係☎㉒2215